

平成30年度第2回文化財修復検討部会での意見と対応等一覧表（案）

No.	提案者	意見	対応
1. 熊本城復旧の取り組み状況について			
1	宮武委員	大天守石垣復旧着手の前提として設計図を早く提示いただきたい。また、小天守石垣復旧設計の提出時期は。	大天守については提出し、概ね了承 小天守は9月末に提出予定（一部は年内）
2. 天守復旧整備工事について 石垣安全対策について			
1	田中部会長	大天守出口の柱の色について、明るい銀色では石垣景観を阻害する。	シルバーでグレーっぽい色（つや消し）で進める。
3. 天守復旧工事について 大天守石垣復旧について			
1	山尾委員	石垣の構造的な議論で石材だけで判断できるのか。実際に積み上げないとわからない部分がある。	今後も石垣WGで議論していく。
4. 長塀復旧について			
1	宮武委員	現況の排水機能が沈下に影響している可能性がある。排水機能・水系調査を行うこと。	今回の部会にて報告（資料4-5）
2	千田委員	城内全体の樹木管理の方針を検討し、長塀への樹木の影響を検討すること。	今回の部会にて報告（資料4-5）
3	北野委員	東側排水口背面が沈下傾向にある。原因と対策を検討して石垣修理の最終判断をすること。	今回の部会にて報告（資料4-6）
4	宮武委員	トレンチ調査だけでなく、控柱補強基礎掘削で遺構を傷つけないように文化財側で掘削作業をすること。	控柱補強基礎部分の掘削については遺構を傷つけないように調査研究センターにより行い、遺構が確認された箇所は基礎形状を見直して遺構を保存する。

【部会長総括】

1	田中部会長	【1.復旧の取り組み状況について】 ・工程管理を明確にわかるようにしていただきたい。	適宜報告していく。
2		【2.天守閣安全対策について】 ・シルバーでグレーっぽい色（つや消し）で結論が出た。	
3		【3.天守石垣復旧について】 ・磨耗や破損した石材の取り扱いは良かったが、控えの長さを変えるなどもう少し検討が必要。	今後も石垣WGで議論していく。
4		【4.長塀復旧について】 ・遺構の確認を間違いなくして欲しい。 ・水系が不安定な部分があるので、注意して施工して欲しい。 ・樹木管理の話も併せて行って欲しい。	今回の部会にて報告（資料4-5・資料4-6）